

# はにい

## 9年生

平成24年8月6日

チャイムが鳴り、授業が始まりました。

廊下に小学校の先生が姿を現すと、3年生も表情が和んだり、そわそわしたりして、軽く手を振っている生徒もいます。

ちょっと、小学9年生になった気分かもしれません。今日は中学校区の全職員による小・中交流会なのです。

この中学校区では各学校の職員全員が出席して、このような交流を行なっています。この交流会が始まって数年が経つそうです。



ある小学校の先生は廊下に掲示された献立の作品を見て、「もう中学校でこんな取組をしているのか。（小学校で）もう少し丁寧な指導が必要だなあ。」

と、自分の指導を振り返っていました。

自分が教えた子がどう育っているのか。自分がその子に行ってきた授業が、その子の未来とどうつながっているのか。そのために自分はどのような授業をすべきなのか。



授業参観後は、学年ごとの会議です。

3学年の部会ではダンスの必修化が話題となりました。

「3年の男子が、とてもダンスをやりたがります。どうも今年の男子はダンスに対する抵抗感がないみたいなんですよ。小学校ではどのような取組をしているんですか？」

「小学校では運動会の表現として毎年行なっていますからね。だから、みんなダンスは大好きになるんですよ。」

「どおりで。この子たちにはダンスが身近なんですね。」

1学年の部会では、この3月に小学校を卒業した子どもの様子を中心に対話がされました。「小学校の先生に子どもの話を聞いてもらっている、愛情をかけてもらっているので、1年生は中学校で安定した生活を送ることができているんじゃないかなあ。」

「それと小中が同じ方向性で子どもを見ていることがよいのではないのでしょうか。」

「そうだ、小学校の児童指導の会議に、中学校の担当者を派遣することもできますね。」

分析的な対話が具体的な行動へと発展していきます。

かながわ元気な学校づくり通信 『はにい』 は、コミュニケーションツールです。  
受けとりあって、みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)

ホームページ： <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420082/>